

水道事業の平成27年度決算状況について



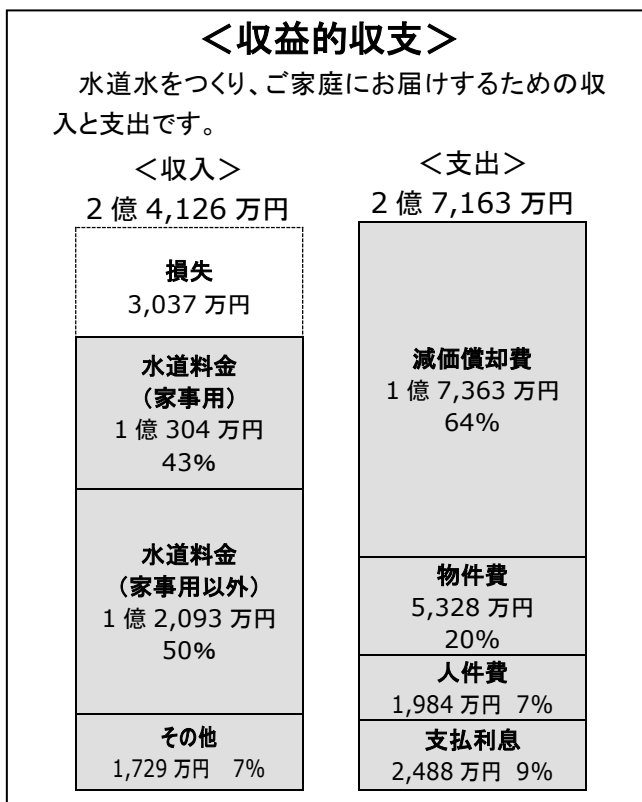
水道事業は、皆さんにお支払い頂いた水道料金をもとに、斜里市街地域・ウトロ地域への水道供給を行っています。

平成27年度の決算状況の概要についてお知らせします。

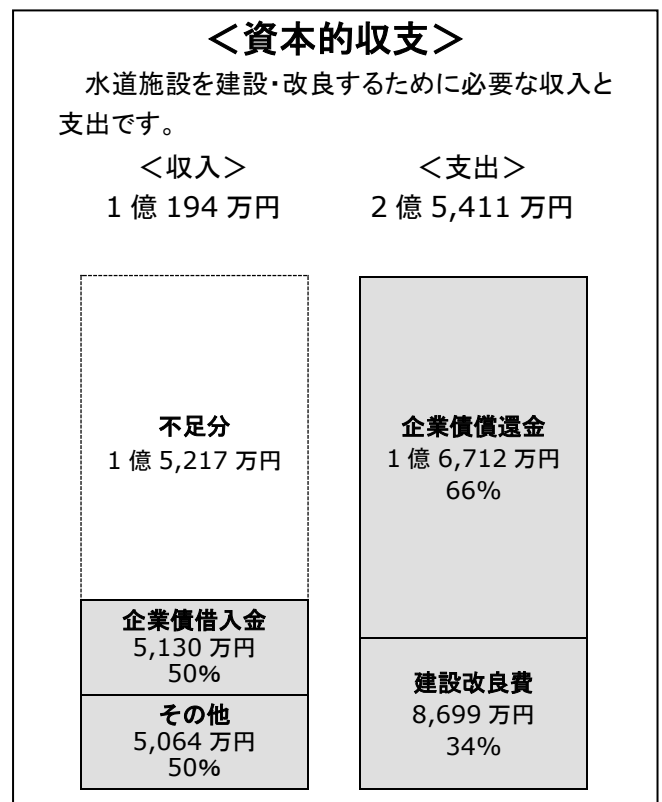
1. 平成27年度の収支状況について

水道事業会計には、「収益的収支」と「資本的収支」の2種類があります。

今年度の収支結果は、単年度で3,037万円の赤字となりました。



物件費 委託料、修繕費、光熱費、物品購入費など
支払利息 企業債償還金(借金)の利息
減価償却費 経年劣化により減少した資産の価値を補てんする経費。
損失 赤字です。預金を取り崩して充当しています。累積赤字は、2億2,290万円です。



企業債 借金です。返済残高は27億2,145万円です。
建設改良費 老朽管更新工事、配水管新設工事、メーター器取替え工事の費用など
不足分 減価償却費などの内部留保資金を充当

2. 貸借対照表

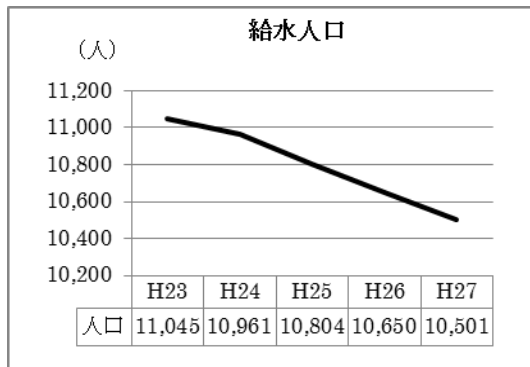
貸借対照表とは、決算日時点で、企業が持っている「財産」や「債務」を表すものです。

資産の部		負債の部	
1. 固定資産	38億3,865万円	1. 企業債(借金の返済残高)	27億2,145万円
・土地	7,339万円	2. 未払金	1,771万円
・建物・構築物	8億2,016万円	3. 繰延収益等	9,988万円
・配水管等	22億7,531万円	負債合計	28億3,904万円
・機械・器具等	6億6,979万円	資本の部	
2. 流動資産	1億6,921万円	1. 資本金	13億5,977万円
・現金預金	1億5,950万円	2. 利益剰余金(欠損金)	▲1億9,095万円
・未収金等	971万円	・積立金	3,195万円
		・利益剰余金(累積赤字)	▲2億2,290万円
資産合計	40億786万円	資本合計	11億6,882万円

<裏面につづきます>

3. 過去5年間の推移

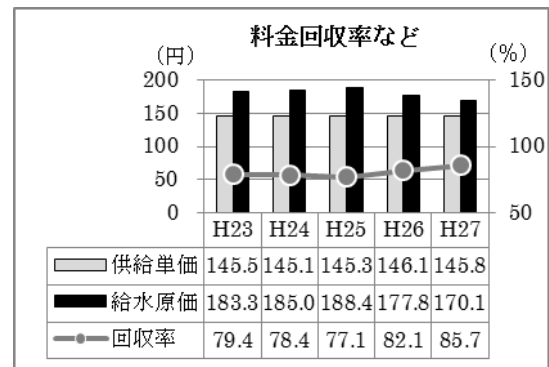
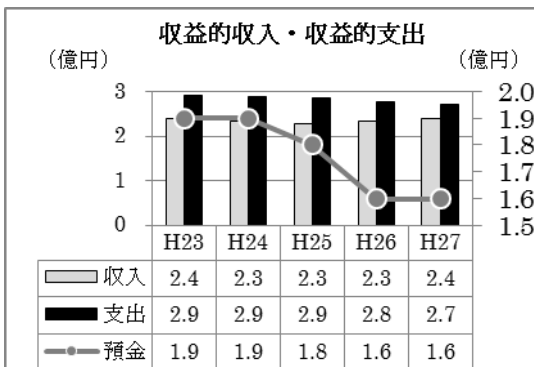
人口減少などにより料金収入が減少傾向です



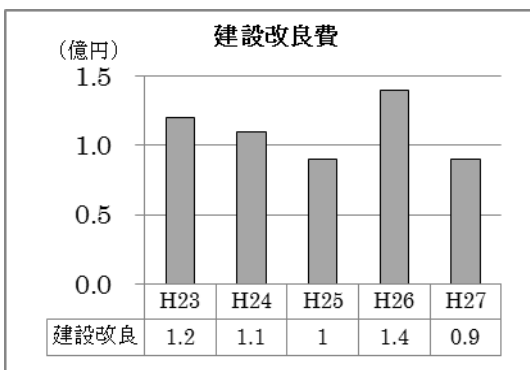
• 近年の人口減少に伴う利用者数の減少、節水機器の普及、景気回復の遅れなどにより料金収入が減少傾向です。

• 収支状況の悪化により預金が減ってきており、このままでは、資金不足状態に陥る可能性が高まっています。

• 供給単価（販売単価）が給水原価（製造単価）を下回っており、良好とは言えない状態です。



経営状況改善に努めています



• 建設改良費は、老朽管やメータ器の更新など、最低限の工事の実施としています。

• 企業債（借金）の残高は減少しています。

• 料金の滞納額（未収金）は、早期の納付相談や給水停止などを行い、減少傾向です。

